

# 平谷歴史探訪

資料館での見学を終えたら、ぜひ外に出てむらの空気と文化財に触れてみてください。一歩足を踏み出せば、様々な発見に出会うことができます。道端の石仏、昔ながらの町並み、森の中の小さな神社…。それら全てに平谷の人々の歴史や心が息づいています。爽やかな高原の風を受けて胸いっぱい深呼吸しながら中馬の里を散策してみませんか。



長尾吉五郎の墓  
片腕の博打打ちの墓。手の不自由な人の参拝が多い。

至飯田

赤子石  
子供の病気治しにご利益がある。

滝之沢城跡  
武田信玄が三河へ進出するために築いた。



大滝  
落差41m、落口の幅約6.5mの豪快な滝。遊歩道でふもとまで行くことができる。

とっばせの関所跡

木地師の墓  
宝暦3～5年（1753～1755）に建立。木地師は山林資源の開発者であり経済的にも恵まれていたため、当時としては豪勢で立派な墓碑である。



柳稻荷神社  
安政4年（1857）に鎮座祭礼が行われ、柳平総連中の氏が祭ったとされる。昭和43年（1968）の再建後も、豊作祈願、無病息災、失物などで参拝する人が多い。



一番観音  
明治34年（1901）に上村街道の開削によって馬の守護と道路交通安全のために建立。上村街道の観音の中で、一番美しい石像といわれている。



諏訪神社  
平谷村の村社で、社殿の位置が川越の険峻の地形にあるのが特徴。宝永7年（1710）に祭礼が始められ、享保6年（1721）に再建。

道祖神

至恵那

粒良岩  
巨岩がつぶし合い混然と重なり合っている形状から「つぶらいわ」と名づけられた。先人たちはこの一帯を神域と考え、山岳信仰の場とした。



資料館  
夢ひらや  
START

道の駅信州平谷  
ひまわりの湯

ひまわり畑

新庁舎

お鳥居様  
忠魂碑

中馬壁画

柳平  
宿場町の面影が残る



浅間神社  
平谷としては古い神社のひとつ。



大柳跡地

歴史探訪ウォーキング  
モデルコース

柳平コース 1周約3.3km 所要時間約1時間

村社諏訪神社、コゴメヤナギの古株が残る浅間神社、街道の面影残る柳平の町並みを歩く。夏にはひまわり畑が見事です。



### 雲谷寺

もともと村民が観音堂を建立し、天正年間（1573～1592）竜池山雲国寺とした。後の元和元年（1615）に、雲国寺堂宇を現在地へ再建整備し、雲谷寺と改めた。



### 薬師堂

毎月8日に念仏を唱え、祭りが行われている。

### 西町馬頭観音

中馬稼ぎの繁盛と馬の安全を祈願し建立。

### キミイ寺跡

寺屋敷の地形が残る村内最古の寺跡。



### 赤坂稲荷

朱塗りの鳥居40余基が約70mの間にぎっしりと並んでおり、お堂は明治末頃に建立された。進学・就職・利殖開運・商売繁盛などの参拝者が多い。



### 西町コース

### 向町馬頭観音

### 山の神

現在も「山の講」という祭事が行われている。

西町宿場町の面影が残る

### 上之山自然公園

### 上之山洞窟・石像

村内唯一、石洞窟内に祀られている石仏。洞窟は、自然石を4段に積み上げたもので、後部は山腹の中に入り込んでいる。



西町コース 1周約2.6km 所要時間約50分

雲谷寺、旧街道の風情豊かな西町、石窟の行者像などを巡るコース。上ノ山の自然公園でお弁当を広げるのも楽しいですよ。

### 林芋村歌碑

林芋村（明治19年～昭和4年）は平谷尋常小学校で教員を勤め、教育に対する情熱や苦悩を多くの短歌に残した。



深雪せる野路に小さき香の跡  
われこそ先に行かましものを

至売木 R151

## 祭り



### 御柱

7年に一度、諏訪神社で行われます。早朝、桐の木を切り出し柱に仕立てて曳き始めます。その後、振る舞い酒やご馳走をいただきながら神社までを練り歩く「里曳き」が盛大に行われます。



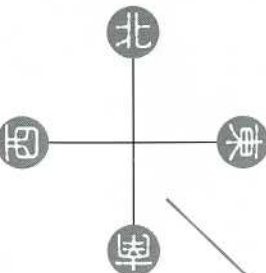
### 津島様

7月14日の津島様のお祭りは、白樺の木の枝先に付けた数百本の小ローソクが灯され、町中が美しい夜景をつくり出します。寺前の津島牛頭天王の碑は、厄除けの神として信仰されています。



### 平谷歌舞伎

江戸時代に村の若衆たちが旅芸人から学び、地芝居として定着しました。10月に「珍珍幕府秋の陣」で大人歌舞伎、子供歌舞伎が上演されます。



至平谷カントリー倶楽部

至豊田

●平谷高原レジャーランド

